

二名公民館だより

今が歴史になった時に

一名公民館 館長 泉森奈央

朝一番にコップ一杯の水を飲むのが日課です。この数日は少し冷たくて、体に流れるとキョッと全身が目覚めます。蛇口をひねれば美味しい水が飲める。この当たり前が、ありがたいです。

私たちの大切なライフラインの一つ、上下水道の歴史を紐解くと、人と感染症の攻防が記されています。明治10年〜44年にかけて日本国内の死者は37万人超。断続的に流行を続けたコレラが、国内だけでなく世界的な水道整備にきっかけを与えました。コレラだけでなく、いく度の感染症が私たちの公衆衛生意識を生み出し、塗りかえてきた記録が残っています。感染症と大災害は、社会の仕組みやインフラを急激に推し進めてきた過去があるようです。ポロニテア元年と呼ばれる平成7年の阪神・淡路大震災もその一例です。

そして今です。今この時代を歴史として振り返る時が来たら、何が見えるのでしょうか。「あのコロナがあったから〇〇が当たり前になった」と教科書に載ったり、「それまでは、会社には毎日通うものだったね」と話す人がいたり。そんな未来があるかもしれませんが、ありません。コロナ禍に失うものもありますが、同時に得ているものもあります。揺れ動く時代を恐れるばかりでなく、変化を味わいながら地域のみなさまと共に乗り越えたいと思います。

発行
公益財団法人
奈良市生涯学習財団
二名公民館
奈良市学園赤松町 3684 番地
TEL&FAX 0742-46-9113
発行人 館長 泉森 奈央
発行日 令和3年9月15日
第9号



ホームページでもご覧いただけます

―特集―
二名に暮らす私が選ぶ
お気に入りの風景

- 法融寺の階段を上がり、本堂を背にして見えるのどかな景色。生駒山が見えて朝夕どちらも気持ちいい。
- 杵築神社さんに入る道。二つの鳥居の間の松並木は、ちょっと敵かな気持ちになれます。
- 春の杵築橋から見た桜。● 御嶽山の桜は二名名物。
- 杵築神社の参道から見た鳥居です。



「二名から生駒を望む」

二名公民館自主グループ トレドの会 油田正秀さん

- 公民館横のトレドの森公園。
- 二名小学校バンビーホーム前からの夕暮れ時。
- 二名分館で10年間続けている「お母さん遊びましょ」の親子。何度も癒されています。
- 二名幼稚園と中学校の間の小径(春と秋)。
- (↓同)昼間は目を凝らせば名阪国道が見える。若草山の山焼きや、花火が見えることも。
- 米作り人Mさんのレンゲ畑。
- 杵築神社の近くにあるハウスの雑貨屋さん。
- みねのてら駐車場から奈良市を遠く見た風景。
- 昔は、この高台広場で盆踊りがありました。

お気に入りの風景

一名町在住Fさん(50代男性)より
春頃から新たな趣味のスケボーを楽しんでいる場所です。左宮真(二名)でも貴重になった田んぼの四季に癒されながら、声をかわす顔見知りの方も十人以上に増えました。同じ趣味を楽しむ二名中学校の生徒さんたちとも友だちになりました。(おじさんは勝手に友だちと思っています)先日、ジューズを飲んでいた彼らが近くに落ちていた空き缶も拾い、帰っていくのに出会いました。「自分たちの行いが良くなってスケボーがでなくなったら困るので」と照れくさうに言っていました。飲んだまま捨てていくのかと一瞬でも思ってしまった自分に大人として恥ずかしくなりながらも、こんな素敵な中学生がいる二名地区に暮らせてラッキーだなと嬉しくなりました。



主催講座にご参加ください
奈良市子育てスポット事業
「二名にこにこ広場」
未就園児と保護者のための子育てスペースです。ブックライトシアターやハロウィン工作、運動会、大型絵巻など、各回工夫を凝らして開催しています。申込は不要です。お待ちしています！



今後開催予定の講座

- 「会話がはずむボードゲーム」
奈良市家庭教育サポートネットワーク支援事業として開催しています。地域の子育てと親育ちをサポートする『まなぼう会』が、ゲームをしながら一緒におしゃべり♪参加ご希望の方はお電話ください。親子いっしょに。大人おひとりで。どなたでもお楽しみいただけます。気軽にお問い合わせください。(各回の定員に達した場合はお断りすることがあります)

日時／10月17日・12月19日・2月20日
いずれも日曜日10〜12時
「探検☆ウォークラリー〜あそびのがっつり〜」
日時／11月14日(日)午前
対象：二名中学校区の小学生 20人
申込／10月にホームページで募集(チラシ配布)

※主催講座は警報発令・感染症状況により中止の場合あり
♪他にもいろいろな講座を開催します♪

こんな講座ありました

7月～8月にかけて開催した講座は、13講座。ご参加いただいた方からの感想レポート他、当日の様子をご紹介します。



「おしゃべり会」二名公民館

「お困りごと、ゆるっと解決会議」

おしゃべり会に参加して 大原裕

コロナ禍で自粛が求められ、外出を控えている高齢者にとってこのような企画に、参加させていただきありがとうございます。

さて、初めてお会いする方々に緊張しながら始まりましたが、泉森館長の巧妙な進行の元、周りの人ともすぐに打ち解けることができドキドキがワクワクになりました。大学生主婦の方と一緒にグループになり、お互いのプチ悩みを出し合いアドバイスをいただきました。同年代としては、

どうしても同じ考えになり発展しませんが、異なった世代の方のお考えをお聞きでき「なるほど」と新しい発見もできました。年長で、つい上から目線になってしまいましたが、素直に聞き入れてくださり有り難かったです。

出歩くのが億劫になる年になり、他の人との繋がりが希薄になってきました。が、これからのような機会を早つけ積極的に参加させていただこうと思います。次回も楽しみにしております。



「できるを伸ばすー弁当の日」子どもだけで作ってみよう



「弁当の日」をご存知ですか。2011年、香川県のある小学校で始まった取り組みです。メニューを決め、買出しや調理をし、弁当箱に詰めて片付けるまで、すべてを子どもに任せます。親は決して手伝わず、出来具合を評価しないというのがルールです。子どもの伸びようとする力を応援する取り組みが注目されて、「弁当の日」は全国に広がっています。

8月7日
と21日、

公民館でこの「弁当の日」を開催しました。3～6年生までの子どもたちが、お弁当の定番料理を作り、2回目は自分で決めた一品にもチャレンジしました。子どもたちが料理をする間、保護者の方は別室で講演会に参加。「子どもに料理をさせるのは、いつから?」「危なっかしくて注意すると、子どもがすぐやる気をなくす」などの悩みに対して、声のかけ方や対応を学びました。



お弁当ができあがったらお父さんお母さんご対面。「お弁当箱オープン」で蓋をあけると、その瞬間にホールが温かくにぎやかな雰囲気になりました。おかずを指さしながら話しかける保護者、はにかみながら説明する子ども。あちこちでスマホ撮影する姿が見えました。

お弁当には子どもからの手紙を忍ばせていました。講師の方は、「毎日の家事の大変さをねぎらうメッセージを書く子もいて、泣きそうになった」とおっしゃいます。

たった2回でしたが、子どもたちにとっては大きなチャレンジだったはず。たくましく成長したのではないのでしょうか。(森)

意外に知られてない? 公民館あれこれ

公民館にあること、公民館でできること。主催講座の開催以外にも、いろいろな特徴があります。

①グループは参加しても良い、作っても良い
既存のグループへの見学や加入だけでなく、趣味や学習のグループを作ることもできます。

②社会教育の専門職員がご相談に応じます

「なにか趣味を見つけたい、学びたい」「地域やサークルの活動運営について相談したい」など、お気軽にお問い合わせください。

※事前に電話でアポイントをお願いいたします

③図書室で本が読める、借りられる

市立図書館では予約が2百人待ちの

人気図書も、知る人ぞ知る、穴場スポットです。



④土日は閉館。朝9時～夜9時まで使用OK

休館日は原則月曜日と祝日です。事前に申請(予約)すれば、夜間6～9時の使用も可能です。※前日までに申請がない場合は夕方5時に閉館します。

⑤地域や市内の情報収集が可能です

市内各地の教育、保育、福祉、文化情報等に関するチラシやポスターがたくさんあります。

⑥リサイクル資源ごみの回収をしています

アルミ缶・ペットボトル・牛乳パックを回収しています。(ビンは回収不可です)

⑦AEDを設置しています

公民館入り口にAED自動体外式除細動器があります。特に小中学校が閉まっている週末や夜間には、覚えておいていただきたい情報です。

二名公民館自主グループ一覽

下のQRコードを読み込むと二名公民館登録グループの最新一覽表をご覧いただけます。



不織布マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策として、公民館ではできるだけ不織布マスクを着用していただきます。ご協力をお願いいたします。

編集後記

上記「できるを伸ばすー弁当の日」で子どもたちと作った、おにぎらず。簡単に美味しく、最近話題の「萌え断」(断面が美しい)です。お弁当箱を開けた時の反応を想像するとワクワク。我が家の定番になりました。